

第10次芦屋市交通安全計画（改定版）重点施策整理表

No	概要 実施内容	所管及び関係機関	特徴 重点施策との関係 7つの柱	柱ごとの施策	施策に応じた対策	実施型	想定する交通安全に寄与する道筋	検証用データ	内 容	検証結果 施策評価	改定内容とその理由
1	「ホッと安心訪問」活動	芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(1)交通弱者対策の充実	①地域における見守りを通じた生活に密着した交通安全活動の推進	・高齢者の交通安全指導 ・独居等高齢者宅を訪問し、出前型交通安全教室を実施する。	ソフト	高齢者宅に赴いて交通規制を再確認してもらう。 一交通規制に従った通行が促され、交通規制無視による事故抑止につながる。	教室の実施内容記録	教室の内容を定性的に評価する。	良	重点施策としての位置づけを外し、整理表には載せないこととする。
2	JR芦屋駅周辺での違法・迷惑駐車追放運動	芦屋警察署 芦屋交通安全協会 建設総務課	(3)道路交通環境の整備	⑥違法駐車対策の推進	・JR芦屋駅周辺の違法駐車啓発	ソフト	違法・迷惑駐車等の防止を呼びかけ、道路交通が円滑に進むよう促す。 一路上の迷惑駐車等の違法駐車等の削減に繋がり、道路空間の通行安全性を向上するため、JR芦屋駅周辺の交通事故抑止につながる。	オープンデータカタログ及びGIS	GISにより事故発生傾向を追跡する。	可	改定しない
3	違法・迷惑駐車等の追放運動	芦屋警察署 芦屋交通安全協会 建設総務課	(1)交通弱者対策の充実	⑦「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進	・兵庫県の実施要領等に基づき実施	ソフト	道路交通の障害を取り除くことで、道路上の自転車の通行安全性や歩道上の歩行者の通行安全性を向上させ、特に、対策実施路線での事故防止を図る。	オープンデータカタログ及びGIS	実施地域の事故発生傾向をGISにて追跡する。	可	改定しない
			(2)自転車対策の推進	⑤「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進	・兵庫県の実施要領等に基づき実施	ソフト	道路交通の障害を取り除くことで、道路上の自転車の通行安全性や歩道上の歩行者の通行安全性を向上させ、特に、対策実施路線での事故防止を図る。	オープンデータカタログ及びGIS	実施地域の事故発生傾向をGISにて追跡する。	可	改定しない
4	シートベルト・チャイルドシート着用運動	芦屋警察署 芦屋交通安全協会 建設総務課	(1)交通弱者対策の充実	⑦「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進	・兵庫県の実施要領等に基づき実施	ソフト	事故発生時や回避時の損傷程度の軽減を図る。	兵庫県発表の着用率推移	県下でのシートベルト・チャイルドシート着用率の推移を追跡する。	良	改定しない
			(2)自転車対策の推進	⑥「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進	・兵庫県の実施要領等に基づき実施	ソフト	事故発生時や回避時の損傷程度の軽減を図る。	兵庫県発表の着用率推移	県下でのシートベルト・チャイルドシート着用率の推移を追跡する。	良	シートベルト・チャイルドシート着用運動の自転車対策での扱いを外すこととする。
			(4)交通安全思想の普及徹底	④後部座席などにおけるシートベルト着用の推進	・ベルト等着用強化の日(毎月15日)の啓発 ・兵庫県の実施要領等に基づき実施	ソフト	シートベルト・チャイルドシートの適切な使用率を促し、事故発生	兵庫県発表の着用率推移	県下でのシートベルト・チャイルドシート着用率の推移を追跡する。	良	「施策に応じた対策」を一部削除する。
5	飲酒運転根絶運動	芦屋警察署 芦屋交通安全協会 建設総務課	(1)交通弱者対策の充実	⑦「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進	・兵庫県の実施要領等に基づき実施	ソフト	飲酒運転は悪質な犯罪行為であると周知することで飲酒運転の自制を促し、飲酒運転に関わる事故防止を図る。	交通年鑑	飲酒運転の事故件数や全事故に対する割合を交通年鑑にて追跡する。	良	重点施策としての位置づけを外し、整理表には載せないこととする。
			(2)自転車対策の推進	⑤「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進	・兵庫県の実施要領等に基づき実施	ソフト	飲酒運転は悪質な犯罪行為であると周知することで飲酒運転の自制を促し、飲酒運転に関わる事故防止を図る。	交通年鑑	飲酒運転の事故件数や全事故に対する割合を交通年鑑にて追跡する。	良	重点施策としての位置づけを外し、整理表には載せないこととする。
6	夕暮れ時の早めのライト点灯運動	芦屋警察署 芦屋交通安全協会 建設総務課	(1)交通弱者対策の充実	⑦「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進	・兵庫県の実施要領等に基づき実施	ソフト	早めのライト点灯を促し、車両の運転手や歩行者等がお互いの接近に気付く可能性を上げる。 一接触を回避できる確率を上げ、接触事故等の回避につながる。	オープンデータカタログ	薄暮時間帯(17～19時)の車両関連事故件数を追跡する	良	改定しない
			(2)自転車対策の推進	⑤「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進	・兵庫県の実施要領等に基づき実施	ソフト	早めのライト点灯を促し、車両の運転手や歩行者等がお互いの接近に気付く可能性を上げる。 一接触を回避できる確率を上げ、接触事故等の回避につながる。	オープンデータカタログ	薄暮時間帯(17～19時)の車両関連事故件数を追跡する	良	改定しない
			(2)自転車対策の推進	⑥夕暮れ時の早めのライト点灯・反射材の普及	・街頭啓発を通して、夕暮れ時の早めのライト点灯を呼びかけ、反射材の配布	ソフト	早めのライト点灯を促し、車両の運転手や歩行者等がお互いの接近に気付く可能性を上げる。 一接触を回避できる確率を上げ、接触事故等の回避につながる。	オープンデータカタログ	薄暮時間帯(17～19時)の車両関連事故件数を追跡する	良	改定しない
7	JR芦屋駅北側の交通規制見直し JR芦屋駅北側の交通規制見直しに伴う啓発活動	芦屋警察署 芦屋交通安全協会 建設総務課	(3)道路交通環境の整備	⑥違法駐車対策の推進	・JR芦屋駅周辺の違法駐車啓発	ハード	対象地区での通行方法が安全性のより高い方法に変更されるため、JR芦屋駅周辺の交通事故抑止につながる。	オープンデータカタログ及びGIS	変更前後の事故発生傾向をGISにて追跡する。	-	見直しが発されたため、実施内容を啓発に切り替える。
8	愛護委員との交通安全に関する懇談会	芦屋警察署 建設総務課	(4)交通安全思想の普及徹底	⑧市民の参画・協働の推進	・交通安全教室及び啓発へのボランティア等の参加	ソフト	参加者等に交通安全への関心を持ってもらうと共に、近所の道路環境を話してもらう 一交通規制に沿った交通を促すと共に危険な地点への対策を行い、事故抑止につながる。	懇親会等の会議録	愛護委員自身の交通安全への関心や、活動時に感じた道路空間の通行安全性を確認。	可	重点施策としての位置づけを外し、整理表には載せないこととする。
9	交通事故抑止に資する指導取締りの推進	芦屋警察署	(5)道路交通秩序の維持	①悪質性・危険性、迷惑性の高い違反に重点を置いた取締りの強化	・交通事故抑止に資する指導取締りの推	ソフト	交通規制の遵守を促し、交通安全につながる。	オープンデータカタログ及びGIS	実施地域の事故発生傾向をGISにて追跡する。	可	重点施策としての位置づけを外し、整理表には載せないこととする。
10	応急手当講習等受講 普通救命講習Ⅰ(市民、学校園) 普通救命講習Ⅱ(トライやるウィーク生徒、保育所、幼稚園職員) 上級救命講習(市民) 応急手当講習(市民、学校園)	消防本部	(6)救助・救急活動の充実	①自動体外式除細動器AEDの使用も含めた心配録生などの応急手当の普及啓発活動の推進	・消防機関等が行う講習会等の普及啓発活動の推進 ・応急手当指導者の積極的な養成等 ・教職員対象の心配録生法の実習及び各種講習会の開催等	ソフト	事故遭遇時の看護方法を確認してもらう。 一事故被害者への応急措置が可能となり、交通事故の被害軽減につながる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。 併せて、死亡事故の傾向を追跡する。	可	改定しない
11	応急手当普及員講習					ソフト	事故遭遇時の看護方法を確認してもらう。 一事故被害者への応急措置が可能となり、交通事故の被害軽減につながる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。 併せて、死亡事故の傾向を追跡する。	可	改定しない
12	救急医療機関との連携を図る					ソフト	速やかに被害者を治療できるよう体制を整え、事故発生時の重症化を抑える。	救急隊の現場到着所要時間平均(兵庫県HP、消防防災年報)	救急隊の現場到着時間平均を追跡する。	良	改定しない
13	救助体制の整備・拡充					ソフト	速やかに被害者を治療できるよう体制を整え、事故発生時の重症化を抑える。	救急隊の現場到着所要時間平均(兵庫県HP、消防防災年報)	救急隊の現場到着時間平均を追跡する。	良	改定しない
14	救助隊員及び救急隊員の教育訓練の充実					ソフト	速やかに被害者を治療できるよう体制を整え、事故発生時の重症化を抑える。	救急隊の現場到着所要時間平均(兵庫県HP、消防防災年報)	救急隊の現場到着時間平均を追跡する。	良	改定しない
15	消防防災ヘリコプターによる救助・救急業務の推進	ソフト	③県消防防災ヘリコプター活用による救助・救急業務の推進	・消防防災ヘリコプターによる救助・救急業務の推進	ソフト	速やかに被害者を治療できるよう体制を整え、事故発生時の重症化を抑える。	救急隊の現場到着所要時間平均(兵庫県HP、消防防災年報)	救急隊の現場到着時間平均を追跡する。	良	改定しない	

第10次芦屋市交通安全計画（改定版）重点施策整理表

No	概要 実施内容	所管及び関係機関	特徴 重点施策との関係 7つの柱	柱ごとの施策	施策に応じた対策	実施型	想定する交通安全に寄与する道筋	検証用データ	内 容	検証結果 施策評価	改定内容とその理由	
16	転落防止柵及び横断防止柵の改修工事の実施			①生活道路等における人優先の安全・安心な歩行空間の整備	・事故の被害程度を軽減させるための防護柵の改良工事		転落防止柵の保守管理により、転落事故を防ぐ。			可		
17				③交通安全施設等の整備事業の推進						良		
18				①生活道路等における人優先の安全・安心な歩行空間の整備						良		
19				③交通安全施設等の整備事業の推進						良		
20				①生活道路等における人優先の安全・安心な歩行空間の整備						-		
21				③交通安全施設等の整備事業の推進						-		
22				①生活道路等における人優先の安全・安心な歩行空間の整備						良		
23				③交通安全施設等の整備事業の推進						良		
24	無電柱化工事の実施	道路・公園課	(3) 道路交通環境の整備	④電線類の地中化の推進	・無電柱化工事の実施	ハード	電柱を撤去することで、見通しの悪さ等による事故を抑える。	オープンデータカタログ及びGIS	実施地域の事故発生傾向をGISにて追跡する。	-	駅周辺の歩道切り下げ部のバリフリー化率、防護柵の改修率、市道部分の無電柱化率の数値目標をなくしたことにより、実施内容のあり方について道路・公園課と協議し、左記のとおり変更する。	
25				⑦災害に備えた道路交通環境の整備						-		
26				④電線類の地中化の推進						良		
27				⑦災害に備えた道路交通環境の整備						良		
26	市内各中学校にて交通安全教室を開催	建設総務課 芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(2) 自転車対策の推進	②自転車利用者への交通ルールの周知と安全教育の推進	・毎月行う自転車マナー啓発で交通ルールの周知を行う。 ・ルールを遵守しなかった場合の罰則やリスク等周知を行う。	ソフト	交通安全の規則を身に付けさせることで、事故発生に繋がる行為の自制を促し、交通事故防止を図る。	オープンデータカタログ及びGIS	GISにより事故発生傾向を追跡する。	可	改定しない	
27	芦屋特別支援学校にて交通安全教室を開催	学校教育課 建設総務課	(1) 交通弱者対策の充実	④障がいの程度に応じた交通安全教育の実施	・芦屋特別支援学校にて交通安全教室	ソフト	交通安全の規則を再確認させる。 一交通規制に従った通行が促され、交通規制無視による事故抑止につながる。	オープンデータカタログ及びGIS	実施地域の事故発生傾向をGISにて追跡する。	可	改定しない	
28	管内の高校におけるスクエアストリート交通安全教室の実施	建設総務課 芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(2) 自転車対策の推進	②自転車利用者への交通ルールの周知と安全教育の推進	・毎月行う自転車マナー啓発で交通ルールの周知を行う。 ・ルールを遵守しなかった場合の罰則やリスク等周知を行う。	ソフト	「交通事故は自分事」との認識を持ってもらう。 一安全な通行行動へ変容を促すことで、油断等による事故の発生抑止につながる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない	
29	交通安全教室	芦屋警察署 学校教育課 建設総務課	(1) 交通弱者対策の充実	③地域の特徴に応じた子どもの交通安全教育の実施	・各小学校区における下校指導(学期毎) ・校外、園外に出る歩行訓練 ・交通安全教室	ソフト	交通安全の規則を身に付けさせることで、自発的な交通安全を促す。	オープンデータカタログ及びGIS	実施地域の事故発生傾向をGISにて追跡する。	可	改定しない	
				(4) 交通安全思想の普及徹底	①参加・体験・実践型の交通安全教育、普及啓発活動の推進	・交通安全教室の開催 ・自転車免許教室の開催 ・校外、園外における歩行訓練 ・自転車の実技実施	ソフト	交通安全の規則を身に付けさせることで、事故発生に繋がる行為の自制を促し、交通事故防止を図る。	オープンデータカタログ及びGIS	実施地域の事故発生傾向をGISにて追跡する。	可	改定しない
					⑧市民の参画・協働の推進	・交通安全教室及び啓発へのボランティア等の参加	ソフト	交通安全の規則を身に付けさせることで、事故発生に繋がる行為の自制を促し、交通事故防止を図る。	オープンデータカタログ及びGIS	実施地域の事故発生傾向をGISにて追跡する。	可	改定しない
30	交通安全協会と連携して、地域ボランティアの交通安全教室等への参加	芦屋警察署 建設総務課	(4) 交通安全思想の普及徹底	⑦交通の安全に関する民間団体などの主体的活動の推進	・交通安全教室及び啓発へのボランティア等の参加	ソフト	ボランティア参加者等に交通安全への関心を持ってもらうこと で、自転車等の安全な通行行動へ変容を促し、事故件数の抑止を図る。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない	
31	反射材の配布(交通安全教室、保育所、幼稚園、小中学校、特別支援学校、シルバー人材センター)	芦屋警察署 芦屋交通安全協会 建設総務課	(4) 交通安全思想の普及徹底	⑤反射材用品等の普及促進	・自転車マナー啓発及び子どもの交通安全教室における反射材の配布 ・高齢者に対する啓発時の反射材の配布	ソフト	交通規制を学習ないし再確認し、危険な事故を防ぐ。 また、反射材を身に着けることで運転手に気付かれる確率を上げ、事故を抑える。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない	

第10次芦屋市交通安全計画（改定版）重点施策整理表

No	概要 実施内容	所管及び関係機関	特徴 重点施策との関係 7つの柱	柱ごとの施策	施策に応じた対策	実施型	想定する交通安全に寄与する道筋	検証用データ	内 容	検証結果 施策評価	改定内容とその理由
32	各小学校区にて通学路合同点検。要望箇所について安全対策を講じる。(複数の学校区ごとに実施)	学校教育課 建設総務課 道路・公園課 芦屋警察署 ほいく課	(1)交通弱者対策の充実	⑤通学通園路等における歩行空間の確保	・通学路交通安全プログラムに基づき、合同点検を行い改善、要望のあった箇所について関係機関と連携を図り安全対策を講じる。	ソフト	交通事故が起こりやすい地点を事前に見つけ出す。 →洗い出された問題点に対応することで、交通事故の防止や被害の軽減につながる。	オープンデータカタログ及びGIS	実施地域の事故発生傾向をGISにて追跡する。	可	改定しない
		道路・公園課	(3)道路交通環境の整備	②通学通園路などの歩行空間の整備の推進	・通学路交通安全プログラムに基づき、合同点検を行い改善、要望のあった箇所について関係機関と連携を図り安全対策を講じる。	ソフト	交通事故が起こりやすい地点を事前に見つけ出す。 →洗い出された問題点に対処することで、交通事故の防止や被害の軽減につながる。	オープンデータカタログ及びGIS	実施地域の事故発生傾向をGISにて追跡する。	可	改定しない
33	未就学児が集団で移動する経路に関する安全点検の実施	学校教育課 建設総務課 道路・公園課 芦屋警察署 ほいく課	(1)交通弱者対策の充実	⑤通学通園路等における歩行空間の確保	・通学路交通安全プログラムに基づき、合同点検を行い改善、要望のあった箇所について関係機関と連携を図り安全対策を講じる。	ソフト	交通事故が起こりやすい地点を事前に見つけ出す。 →洗い出された問題点に対応することで、交通事故の防止や被害の軽減につながる。	オープンデータカタログ及びGIS	実施地域の事故発生傾向をGISにて追跡する。	可	改定しない
34	愛護委員、PTA等と連携した登下校指導等	芦屋警察署 建設総務課	(4)交通安全思想の普及徹底	⑧市民の参画・協働の推進	・交通安全教室及び啓発へのボランティア等の参加	ソフト	交通安全の規則を再確認させる。 →交通規制に従った通行が促され、交通規制無視による事故抑止につながる。	オープンデータカタログ及びGIS	実施地域の事故発生傾向をGISにて追跡する。	可	改定しない
35	下校指導	学校教育課 建設総務課	(1)交通弱者対策の充実	③地域の特徴に応じた子どもの交通安全教育の実施	・各小学校区における下校指導(学期毎) ・校外、園外に出るの歩行訓練 ・交通安全教室	ソフト	交通安全の規則を再確認させる。 →交通規制に従った通行が促され、交通規制無視による事故抑止につながる。	オープンデータカタログ及びGIS	実施地域の事故発生傾向をGISにて追跡する。	可	改定しない
36	登下校時の児童生徒の集合場所等の点検の実施	学校教育課 建設総務課 道路・公園課 芦屋警察署 ほいく課	(1)交通弱者対策の充実	⑤通学通園路等における歩行空間の確保	・通学路交通安全プログラムに基づき、合同点検を行い改善、要望のあった箇所について関係機関と連携を図り安全対策を講じる。	ソフト	交通事故が起こりやすい地点を事前に見つけ出す。 →洗い出された問題点に対応することで、交通事故の防止や被害の軽減につながる。	オープンデータカタログ及びGIS	実施地域の事故発生傾向をGISにて追跡する。	可	改定しない
37	芦屋さくらまつり、オータムフェスタ、校区合同防災訓練での自転車安全利用推進運動、園遊会、秋まつり等での啓発	建設総務課	(1)交通弱者対策の充実	①地域における見守りを通じた生活に密着した交通安全活動の推進	・高齢者が集まりやすいイベント ・会議(地域のまつり、集会所等)で交通安全啓発を行う。	ソフト	交通安全の規則を再確認してもらう。 →交通規制に従った通行が促され、交通規制無視による事故抑止につながる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない
38	街頭啓発	芦屋警察署 芦屋交通安全協会 建設総務課	(4)交通安全思想の普及徹底	⑤反射材用品等の普及促進	・自転車マナー啓発及び子どもの交通安全教室における反射材の配布 ・高齢者に対する啓発時の反射材の配布	ソフト	「交通事故は自分事」との認識を持ってもらう。 →安全な通行行動へ変容を促すことで、油断等による事故の発生抑止につながる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない
		建設総務課 生涯学習課 芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(4)交通安全思想の普及徹底	⑥飲酒運転根絶に向けた規範意識の確立	・四季の交通安全運動キャンペーンへのキッズ保安官による啓発 ・街頭啓発(飲酒運転根絶運動)の実施	ソフト	「交通事故は自分事」「自動車・自転車はルールにのっとり適切な道路空間の利用が重要」との認識を持ってもらう。 →安全な通行行動へ変容を促すことで、事故件数の抑止につながる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	良	改定しない
		建設総務課 生涯学習課 芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(4)交通安全思想の普及徹底	③自転車の安全利用の推進	①自転車ネットワーク計画策定に向けた関係機関との協議 ②自転車ネットワーク計画を策定 ③自転車ネットワーク計画に基づいた整備に関する関係機関との協議	ソフト	「交通事故は自分事」「自転車はルールにのっとり適切な道路空間の利用が重要」との認識を持ってもらう。 →安全な通行行動へ変容を促すことで、事故件数の抑止につながる。	定量データなし	交通量等に照らして自転車ネットワーク路線の設定が目的に即すか否かを定性的に評価する。	可	自転車ネットワーク計画が策定されたことに伴い、「施策に応じた対策」を一部削除する。
39	管内の高校生と協働した自転車マナーアップ街頭キャンペーンの実施	建設総務課 芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(2)自転車対策の推進	②自転車利用者への交通ルールの周知と安全教育の推進	・毎月行う自転車マナー啓発で交通ルールの周知を行う。 ・ルールを遵守しなかった場合の罰則やリスク等周知を行う。	ソフト	「交通事故は自分事」「自転車はルールにのっとり適切な道路空間の利用が重要」との認識を持ってもらう。 →安全な通行行動へ変容を促すことで、事故件数の抑止につながる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない
40	啓発へのボランティア等の参加	芦屋警察署 建設総務課	(4)交通安全思想の普及徹底	⑧市民の参画・協働の推進	・交通安全教室及び啓発へのボランティア等の参加	ソフト	ボランティア参加者等に交通安全への関心を持ってもらうことで、自発的な交通安全を促す。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない
41	四季(春、夏、秋、年末)の交通安全運動	芦屋警察署 芦屋交通安全協会 建設総務課	(1)交通弱者対策の充実	⑦「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進	・兵庫県の実施要領等に基づき実施	ソフト	交通弱者が安心して通行できる状況を維持し、事故発生を抑制する。	オープンデータカタログ	四季の交通安全運動の個別具体策を踏まえ、検証を行う。	可	日常実施している各施策を各四季ごとに特定の期間を設けて運動を盛り上げるとい趣旨のため、この運動独自の施策はないので、この項目自体を削除する。
			(2)自転車対策の推進	⑤「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進	・兵庫県の実施要領等に基づき実施	ソフト	自転車の交通規制や「車両としての危険性」を周知し、危険な事故を防ぐ。	ソフト		可	
42	全国交通安全運動キャンペーンへのキッズ保安官の参加(春・秋)	芦屋警察署 芦屋交通安全協会 建設総務課	(4)交通安全思想の普及徹底	⑥飲酒運転根絶に向けた規範意識の確立	・四季の交通安全運動キャンペーンへのキッズ保安官による啓発 ・街頭啓発(飲酒運転根絶運動)の実施	ソフト	飲酒運転は悪質な犯罪行為であると周知することで飲酒運転の自制を促し、飲酒運転に関わる事故防止を図る。	交通年鑑等	飲酒運転の事故件数や全事故に対する割合を交通年鑑等にて追跡する。	良	改定しない
43	高齢者運転免許自主返納サポート協議会への加盟を芦屋市商工会へ依頼	芦屋警察署 建設総務課 生涯学習課	(1)交通弱者対策の充実	②高齢者の事故発生状況に応じた交通安全教育・啓発の実施	・高齢者交通安全教室の実施 ・出前講座の実施 ・高齢者ドライビングスクールの開催	ソフト	高齢者の免許証返納を促すことで、運転時の高齢者による事故	都道府県別申請取消件数 (警察庁公表「運転免許統計」)	申請取消件数の推移を追跡する。	良	重点施策としての位置づけを外し、整理表には載せないこととする
44	高齢者交通安全教育隊(スタウス)による安全教育	芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(1)交通弱者対策の充実	①地域における見守りを通じた生活に密着した交通安全活動の推進	・高齢者の交通安全指導 ・独居等高齢者宅を訪問し、出前型交通安全教室とする。	ソフト	「交通事故は自分事」との認識を持ってもらう。 →安全な通行行動へ変容を促すことで、油断等による事故の発生抑止につながる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない
		建設総務課 生涯学習課 芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(4)交通安全思想の普及徹底	②高齢者に対する交通安全教育の推進	・高齢者交通安全教室の実施 ・出前講座の実施	ソフト	「交通事故は自分事」との認識を持ってもらう。 →安全な通行行動へ変容を促すことで、油断等による事故の発生抑止につながる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない
45	市広報紙とケーブルテレビにて高齢者免許返納についての案内を掲載、放映	芦屋警察署 建設総務課 生涯学習課	(1)交通弱者対策の充実	②高齢者の事故発生状況に応じた交通安全教育・啓発の実施	・高齢者交通安全教室の実施 ・出前講座の実施 ・高齢者ドライビングスクールの開催	ソフト	自動車免許の返納を促し、自動車運転時の高齢者が引き起こす事故を抑える。	都道府県別申請取消件数 (警察庁公表「運転免許統計」)	申請取消件数の推移を追跡する。	良	重点施策としての位置づけを外し、整理表には載せないこととする
46	自転車シミュレーターを利用した啓発活動	建設総務課 芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(2)自転車対策の推進	②自転車利用者への交通ルールの周知と安全教育の推進	・毎月行う自転車マナー啓発で交通ルールの周知を行う。 ・ルールを遵守しなかった場合の罰則やリスク等周知を行う。	ソフト	「交通事故は自分事」「自転車はルールにのっとり適切な道路空間の利用が重要」との認識を持ってもらう。 →安全な通行行動へ変容を促すことで、事故件数の抑止につながる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない
47	自転車ネットワーク計画に基づいた整備に関する関係機関との協議	道路・公園課	(3)道路交通環境の整備	⑤安全で快適な自転車利用環境の整備	自転車ネットワーク計画の策定及び具体化	ソフト	自転車ネットワーク計画に基づき自転車走行環境を整備することで、歩行者と自転車の交通安全性を保ち、事故防止を図る。	オープンデータカタログ及びGIS	実施地域の事故発生傾向をGISにて追跡する。	・	改定しない
48	自転車ネットワーク計画を策定	道路・公園課	(3)道路交通環境の整備	⑤安全で快適な自転車利用環境の整備	自転車ネットワーク計画の策定及び具体化	ソフト	自転車ネットワーク計画に基づき自転車走行環境を整備することで、歩行者と自転車の交通安全性を保ち、事故防止を図る。	オープンデータカタログ及びGIS	実施地域の事故発生傾向をGISにて追跡する。	・	計画を策定したため、削除する。
49	自転車ネットワーク計画策定に向けた関係機関との協議	道路・公園課	(3)道路交通環境の整備	⑤安全で快適な自転車利用環境の整備	自転車ネットワーク計画の策定及び具体化	ソフト	自転車ネットワーク計画に基づき自転車走行環境を整備することで、歩行者と自転車の交通安全性を保ち、事故防止を図る。	オープンデータカタログ及びGIS	実施地域の事故発生傾向をGISにて追跡する。	・	改定しない

第10次芦屋市交通安全計画（改定版）重点施策整理表

No	概要 実施内容	所管及び関係機関	特徴		実施型	想定する交通安全に寄与する道筋	検証用データ	内容	検証結果 施策評価	改定内容とその理由	
			重点施策との関係 7つの柱	柱ごとの施策							
50	自転車安全利用推進運動	芦屋警察署 芦屋交通安全協会 建設総務課	(1) 交通弱者対策の充実	⑦「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進	・兵庫県の実施要領等に基づき実施	ソフト	自転車の交通規制や「車両としての危険性」を学習ないし再確認してもらう。 →危険行為の自制を促し、乗車中の事故防止につなげる。	定量データなし	-	この実施内容は「ストップ・ザ・交通事故」県民運動でよびかけられているもので、市ではこれに関連した個別の施策を他で実施しているため、この項目自体は削除する。	
			(2) 自転車対策の推進	⑥「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進	・兵庫県の実施要領等に基づき実施	ソフト	自転車の交通規制や「車両としての危険性」を学習ないし再確認してもらう。 →危険行為の自制を促し、乗車中の事故防止につなげる。	定量データなし	-		
51	自転車教室	建設総務課 芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(2) 自転車対策の推進	①子どもの発達段階に応じた自転車マナー啓発活動の推進	・小学4年生を対象に自転車教室（警察主催・その他小学生）	ソフト	自転車の交通規制や「車両としての危険性」を学習させる。 →危険行為の自制を促し、乗車中の事故防止につなげる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない
			(2) 自転車対策の推進	①子どもの発達段階に応じた自転車マナー啓発活動の推進	・小学4年生を対象に自転車教室（市立小学校・4年生）	ソフト	自転車の交通規制や「車両としての危険性」を学習させる。 →危険行為の自制を促し、乗車中の事故防止につなげる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない
			(2) 自転車対策の推進	②自転車利用者への交通ルールの周知と安全教育の推進	・毎月行う自転車マナー啓発で交通ルールの周知を行う。 ・ルールを遵守しなかった場合の罰則やリスク等周知を行う。	ソフト	自転車の交通規制や「車両としての危険性」を学習させる。 →危険行為の自制を促し、乗車中の事故防止につなげる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない
		建設総務課 生涯学習課 芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(4) 交通安全思想の普及徹底	③自転車の安全利用の推進	①自転車ネットワーク計画策定に向けた関係機関との協議 ②自転車ネットワーク計画を策定 ③自転車ネットワーク計画に基づいた整備に関する関係機関との協議	ソフト	自転車の交通規制や「車両としての危険性」を学習させる。 →危険行為の自制を促し、乗車中の事故防止につなげる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	自転車ネットワーク計画が策定されたことに伴い、「施策に応じた対策」を一部削除する。
52	自転車駐車場指定管理者の交通安全教室等への参加	芦屋警察署 建設総務課	(4) 交通安全思想の普及徹底	⑦交通の安全に関する民間団体などの主体的活動の推進	・交通安全教室及び啓発へのボランティア等の参加	ソフト	自転車の交通規制や「車両としての危険性」を学習させる。 →危険行為の自制を促し、乗車中の事故防止につなげる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない
53	自転車免許教室	建設総務課 学校教育課 芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(2) 自転車対策の推進	④自転車運転免許証等を発行する自転車交通安全教室の推進	・小学校4年生以上を対象に実施。（低学年の参加も可）	ソフト	自転車の交通規制や「車両としての危険性」を学習ないし再確認してもらう。 →危険行為の自制を促し、乗車中の事故防止につなげる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない
			学校教育課 建設総務課 芦屋警察署	(4) 交通安全思想の普及徹底	①参加・体験・実践型の交通安全教育、普及啓発活動の推進	・交通安全教室の開催 ・自転車免許教室の開催 ・校外、園外における歩行訓練 ・自転車の実技実施	ソフト	自転車の交通規制や「車両としての危険性」を学習ないし再確認してもらう。 →危険行為の自制を促し、乗車中の事故防止につなげる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可
		建設総務課 生涯学習課 芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(4) 交通安全思想の普及徹底	③自転車の安全利用の推進	①自転車ネットワーク計画策定に向けた関係機関との協議 ②自転車ネットワーク計画を策定 ③自転車ネットワーク計画に基づいた整備に関する関係機関との協議	ソフト	自転車の交通規制や「車両としての危険性」を学習ないし再確認してもらう。 →危険行為の自制を促し、乗車中の事故防止につなげる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	自転車ネットワーク計画が策定されたことに伴い、「施策に応じた対策」を一部削除する。
54	自転車利用者の交通違反に対する指導取締り	芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(5) 道路交通秩序の維持	②自転車利用者に対する指導取締りの推進	・自転車利用者の交通違反に対する指導取締り ・自転車利用者マナーアップ指導啓発活動	ソフト	交通規制の遵守を促すことで、危険行為の減少・道路の交通安全性向上につなげ、交通事故防止を図る。	オープンデータカタログ及びGIS	GISにより事故発生傾向を追跡する。	可	改定しない
55	自転車利用者マナーアップ指導啓発活動	芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(5) 道路交通秩序の維持	②自転車利用者に対する指導取締りの推進	・自転車利用者の交通違反に対する指導取締り ・自転車利用者マナーアップ指導啓発活動	ソフト	自転車の交通規制や「車両としての危険性」を周知し、危険な事故を防ぐ。	オープンデータカタログ及びGIS	GISにより事故発生傾向を追跡する。	可	改定しない
56	職員向け自転車講習会	建設総務課 人事課 芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(4) 交通安全思想の普及徹底	③自転車の安全利用の推進	①自転車ネットワーク計画策定に向けた関係機関との協議 ②自転車ネットワーク計画を策定 ③自転車ネットワーク計画に基づいた整備に関する関係機関との協議	ソフト	自転車の交通規制や「車両としての危険性」を復習することで、公務中の事故を防ぐ。	職員の公務中事故の事故件数	公務中の交通事故件数を追跡する。	可	自転車ネットワーク計画が策定されたことに伴い、「施策に応じた対策」を一部削除する。
57	イベント等で自転車保険加入の啓発	芦屋交通安全協会 建設総務課 芦屋警察署	(2) 自転車対策の推進	③自転車賠償責任保険の加入促進	・駐輪場で自転車保険の案内等を配布 ・イベント等で自転車保険加入の啓発	ソフト	事故発生時の賠償を容易とし、発生後の社会復帰を資金面から援助する。	自転車保険加入率	兵庫県下の自転車保険加入率を追跡する。	-	改定しない
58	加入状況アンケート(交通安全協会)	芦屋交通安全協会 建設総務課 芦屋警察署	(2) 自転車対策の推進	③自転車賠償責任保険の加入促進	・駐輪場で自転車保険の案内等を配布 ・イベント等で自転車保険加入の啓発	ソフト	事故発生時の賠償を容易とし、発生後の社会復帰を資金面から援助する。	自転車保険加入率	兵庫県下の自転車保険加入率を追跡する。	良	改定しない
			芦屋交通安全協会 建設総務課	(7) 損害賠償の適正化をはじめとした被害者支援の推進	①自転車賠償責任保険の加入促進	・駐輪場で自転車保険の案内等の配布 ・イベント等で自転車保険加入の啓発	ソフト	事故発生時の賠償を容易とし、発生後の社会復帰を資金面から援助する。	自転車保険加入率	兵庫県下の自転車保険加入率を追跡する。	良
59	市役所庁舎内、市営駐輪場内に自転車保険の案内パンフレット設置、イベント等で自転車保険加入の啓発	芦屋交通安全協会 建設総務課 芦屋警察署	(2) 自転車対策の推進	③自転車賠償責任保険の加入促進	・駐輪場で自転車保険の案内等を配布 ・イベント等で自転車保険加入の啓発	ソフト	事故発生時の賠償を容易とし、発生後の社会復帰を資金面から援助する。	自転車保険加入率	兵庫県下の自転車保険加入率を追跡する。	良	改定しない
			芦屋交通安全協会 建設総務課	(7) 損害賠償の適正化をはじめとした被害者支援の推進	①自転車賠償責任保険の加入促進	・駐輪場で自転車保険の案内等の配布 ・イベント等で自転車保険加入の啓発	ソフト	事故発生時の賠償を容易とし、発生後の社会復帰を資金面から援助する。	自転車保険加入率	兵庫県下の自転車保険加入率を追跡する。	良
60	出前講座	芦屋警察署 芦屋交通安全協会 建設総務課	(4) 交通安全思想の普及徹底	⑤反射材用品等の普及促進	・自転車マナー啓発及び子どもの交通安全教室における反射材の配布 ・高齢者に対する啓発時の反射材の配布	ソフト	交通規制や「歩行者の事故要因」を学習ないし復習することで、乗車中の事故を防ぐ。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない
			建設総務課 生涯学習課 芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(4) 交通安全思想の普及徹底	③自転車の安全利用の推進	①自転車ネットワーク計画策定に向けた関係機関との協議 ②自転車ネットワーク計画を策定 ③自転車ネットワーク計画に基づいた整備に関する関係機関との協議	ソフト	自転車の交通規制や「車両としての危険性」を学習ないし再確認してもらう。 →危険行為の自制を促し、乗車中の事故防止につなげる。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可
61	生活安全推進連絡会高齢者分科会にて交通安全指導の実施	芦屋警察署 建設総務課 生涯学習課	(1) 交通弱者対策の充実	②高齢者の事故発生状況に応じた交通安全教育・啓発の実施	・高齢者交通安全教室の実施 ・出前講座の実施 ・高齢者ドライビングスクールの開催	ソフト	自動車の交通規制や「車両としての危険性」を再確認し、危険な事故を防ぐ。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	良	改定しない
62	シルバー・ドライバーズ・スクール	芦屋警察署 建設総務課 生涯学習課	(1) 交通弱者対策の充実	②高齢者の事故発生状況に応じた交通安全教育・啓発の実施	・高齢者交通安全教室の実施 ・出前講座の実施 ・高齢者ドライビングスクールの開催	ソフト	交通安全の規則を再確認することで、自発的な交通安全を促す。	オープンデータカタログ及びGIS	オープンデータカタログのデータより高齢者の自動車運転事故件数推移を追跡する。	不	重点施策としての位置づけを外し、整理表には載せないこととする。
			建設総務課 生涯学習課 芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(4) 交通安全思想の普及徹底	②高齢者に対する交通安全教育の推進	・高齢者交通安全教室の実施 ・出前講座の実施	ソフト	交通安全の規則を再確認することで、自発的な交通安全を促す。	オープンデータカタログ及びGIS	オープンデータカタログのデータより高齢者の自動車運転事故件数推移を追跡する。	不

第10次芦屋市交通安全計画（改定版）重点施策整理表

No	概要 実施内容	所管及び関係機関	特徴		実施型	想定する交通安全に寄与する道筋	検証用データ	内 容	検証結果 施策評価	改定内容とその理由
			重点施策との関係 7つの柱	柱ごとの施策						
63	シルバー人材センターでの講話	芦屋警察署 建設総務課 生涯学習課	(1)交通弱者対策の充実	②高齢者の事故発生状況に応じた交通安全教育・啓発の実施	ソフト	交通安全の規則を再確認することで、自発的な交通安全を促す。	オープンデータカタログ及びGIS	オープンデータカタログのデータより高齢者の自動車運転事故件数推移を追跡する。	可	改定しない
64	設置看板の維持管理	道路・公園課	(1)交通弱者対策の充実	⑥「あんしん歩行エリア」の形成等による交通安全対策の推進	ハード	設置看板の維持管理により、あんしん歩行エリアでの歩行者関連事故を抑える。	オープンデータカタログ及びGIS	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない
65	待ち受け型安全教育	芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(1)交通弱者対策の充実	①地域における見守りを通じた生活に密着した交通安全活動の推進	ソフト	交通安全の規則を再確認することで、自発的な交通安全を促す。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない
		建設総務課 生涯学習課 芦屋警察署 芦屋交通安全協会	(4)交通安全思想の普及徹底	②高齢者に対する交通安全教育の推進	ソフト	交通安全の規則を再確認することで、自発的な交通安全を促す。	定量データなし	実施内容が目的に合致しているか否かを定性的に評価する。	可	改定しない
66	JR芦屋駅南自転車駐車場7及び8の閉鎖	建設総務課	(2)自転車対策の推進	⑤自転車駐車場の改修及び整備	ハード	JR芦屋駅南統合駐輪場（仮称）の設置により、駐輪場の利便性向上を図る。 駐輪場利用者の動線を現行の生活道路経由から歩道橋経由へ変更が促され、路上駐輪の削減・利用者の駅～駐輪場間の徒歩移動時の事故減少につながる。	オープンデータカタログ及びGIS	GISにより事故発生傾向を追跡する。	-	10次計画当初から重点施策項目に入っていなかったこと、また今後の改修・整備計画が流動的なため、整理表から外すこととする。
67	JR芦屋駅北自転車駐車場の改良改修工事（自転車ラック・監視カメラ）	建設総務課	(2)自転車対策の推進	⑤自転車駐車場の改修及び整備	ハード	駐輪場の環境を利用しやすいよう改善し、利用促進を図る。 一路上の迷惑駐輪or違法駐輪の減少により、道路空間の通行安全性が向上するため、駐輪場周辺の交通事故抑止につながる。	オープンデータカタログ及びGIS	GISにより事故発生傾向を追跡する。	可	
68	阪神芦屋西自転車駐車場の補修工事	建設総務課	(2)自転車対策の推進	⑤自転車駐車場の改修及び整備	ハード	駐輪場の環境を利用しやすいよう改善し、利用促進を図る。 一路上の迷惑駐輪or違法駐輪の減少により、道路空間の通行安全性が向上するため、駐輪場周辺の交通事故抑止につながる。	オープンデータカタログ及びGIS	GISにより事故発生傾向を追跡する。	-	
69	阪神打出駅前自転車駐車場の自転車ラック改修	建設総務課	(2)自転車対策の推進	⑤自転車駐車場の改修及び整備	ハード	駐輪場の環境を利用しやすいよう改善し、利用促進を図る。 一路上の迷惑駐輪or違法駐輪の減少により、道路空間の通行安全性が向上するため、駐輪場周辺の交通事故抑止につながる。	オープンデータカタログ及びGIS	GISにより事故発生傾向を追跡する。	可	
70	阪神打出駅南自転車駐車場の開設（定数56台、自転車定期専用）	建設総務課	(2)自転車対策の推進	⑤自転車駐車場の改修及び整備	ハード	駐輪場の環境を利用しやすいよう改善し、利用促進を図る。 一路上の迷惑駐輪or違法駐輪の減少により、道路空間の通行安全性が向上するため、駐輪場周辺の交通事故抑止につながる。	オープンデータカタログ及びGIS	GISにより事故発生傾向を追跡する。	良	
71	暴走行為阻止のための環境整備	芦屋警察署	(5)道路交通秩序の維持	③暴走族対策の強化	ソフト	・暴走行為阻止のための環境整備 ・暴走族等に対する指導取締りの強化	定量データなし	暴走族の人員等の推移を踏まえ、定性的に評価する。	-	重点施策としての位置づけを外し、整理表には載せないこととする。
72	暴走族等に対する指導取締りの強化	芦屋警察署	(5)道路交通秩序の維持	③暴走族対策の強化	ソフト	・暴走行為阻止のための環境整備 ・暴走族等に対する指導取締りの強化	定量データなし	暴走族の人員等の推移を踏まえ、定性的に評価する。	-	
73	横断歩道合図（アイズ）運動の推進	芦屋警察署 芦屋交通安全協会 建設総務課	(1)交通弱者対策の充実	⑧横断歩道合図（アイズ）運動の推進	ソフト	・交通安全教室や交通安全啓発活動において、横断歩道合図（アイズ）運動の周知を図る。				新規
74	データ等を活用した分析の具体化	建設総務課	(7)データ分析に基づくきめ細かな対策の推進	①データ等を活用した分析の具体化	ソフト	・事故マップによる情報提供 ・ETC2.0の活用に向けた検討				新規